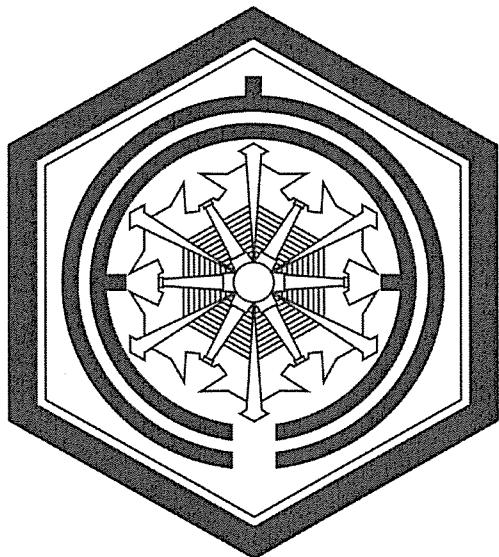


平成 27 年

消 防 年 報



歌志内市消防本部

は　し　が　き

1. この年報は、歌志内市における消防現況並びに平成27年中の消防業務の諸資料及び火災統計の集録、消防事情の紹介など、今後の火災予防及び消防行政推進の資料とすることを目的として編集したものです。
2. この年報は、平成27年12月末日現在で集録したものですが、統計表等については、その推移を明らかにするため、過去数カ年を対比してまとめました。

平成28年3月

歌志内市消防本部

目 次

歌志内市の現況と消防の沿革

1. 地 勢	1 頁
2. 気 象	1 頁
3. 月別気象状況表	2 頁
4. 人口・世帯数	3 頁
5. 市勢に対する消防現勢との比較	3 頁
6. 人口・世帯の推移	3 頁
7. 歌志内市消防の沿革	4 頁
8. 平成27年行事記録表	7 頁

消 防 力 の 現 勢

1. 消防組織	11 頁
(1) 消防機構	11 頁
(2) 消防職員階級別表	12 頁
(3) 消防職員配置表	12 頁
(4) 消防職員年齢別表	13 頁
(5) 消防職員勤続年数表	13 頁
(6) 消防職員教養訓練状況	14 頁
(7) 消防職員技能資格調	14 頁
(8) 消防団員定員実員状況	15 頁
(9) 消防団員勤続年数表	15 頁
(10) 消防団員年齢別表	16 頁
(11) 消防団員任免状況	16 頁
2. 消防施設	17 頁
(1) 消防機械	17 頁
① 消防車両現勢一覧表	17 頁
② 消防機器積載状況	18 頁
③ 特殊器具等一覧表	19 頁
(2) 消防無線	20 頁
① アナログ無線	20 頁
② デジタル無線	21 頁
(3) 水利現勢	22 頁
(4) 消防庁舎	22 頁
(5) 消防職員住宅	22 頁
(6) 通信施設系統図	23 頁
(7) 通信・気象観測施設	24 頁

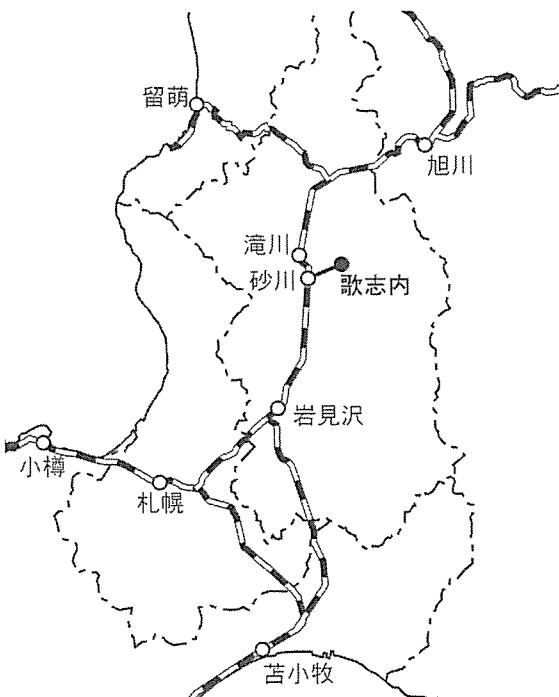
(8) 緊急通報システム	-----	25頁
① ふれあいネットワーク（消防センター）	-----	25頁
② 発信種別通報	-----	25頁
③ 処理別回数	-----	25頁
火災と救急・救助		
1. 火災概況	-----	26頁
(1) 平成27年火災記録	-----	27頁
(2) 既往10カ年月別火災発生状況	-----	28頁
(3) 既往10カ年火災状況	-----	29頁
(4) 既往10カ年原因別出火件数	-----	29頁
(5) 既往10カ年時間帯別火災発生状況	-----	30頁
(6) 既往10カ年曜日別火災発生状況	-----	30頁
2. 救急概況	-----	31頁
(1) 月別救急出場状況	-----	32頁
(2) 時間別救急出場状況	-----	33頁
(3) 曜日別救急出場状況	-----	33頁
(4) 年齢・性別搬送状況	-----	34頁
(5) 事故種別・性別搬送状況	-----	34頁
(6) 地区別発生状況	-----	34頁
(7) 傷病程度別搬送状況	-----	34頁
(8) 救急隊員の行った応急処置件数	-----	35頁
(9) 覚知別受信状況	-----	35頁
(10) 医療機関別搬送状況	-----	35頁
(11) 担当科別搬送状況	-----	35頁
(12) 既往5カ年事故種別出場状況	-----	36頁
(13) 普通救命講習会実施状況	-----	36頁
(14) 一般救急講習会実施状況	-----	36頁
3. 救助概況	-----	37頁
予防行政		
1. 月別建築同意・通知処理状況	-----	38頁
2. 消防業務処理状況	-----	39頁
3. 防火管理者業務状況	-----	40頁
4. 危険物製造所等現在数調	-----	40頁
5. 危険物規制事務手数料	-----	40頁
6. 防火広報活動	-----	41頁

歌志内市の現況と消防の沿革



位置 北緯 $42^{\circ} 26''$ ~ $43^{\circ} 31''$
東経 $142^{\circ} 5''$ ~ $141^{\circ} 58''$

面積 55.95km^2



1. 地 勢

歌志内市は石狩平野の東北隅の山麓地帯にあって、周囲は芦別市、赤平市、砂川市、上砂川町の4市町に接している。

この流域は夕張山脈の北に当たり、山岳地帯に源を発して西流するペンケウタシュナイ川とこの川に注ぐ小流の占める流域を北部とし、南部は西山を主峰とするペンケウタシュナイ川以南の山岳地帯に分けることができる。

東部および南部は最南端に位置するペンケ山を主峰とし、他の600メートル前後の山々と、これらを結ぶ山脈を境として芦別市に接し、北部は赤平山、神威岳を境とし赤平市に接している。

また西部および西南部は次第に開けて砂川市および上砂川町に隣接している。

2. 気 象

歌志内市の属している本道中央部は、世界の気象帯からいえば温帶の北限あるいは亜寒帯に属し本邦の気象形成区分上は裏日本型である。

冬季は湿潤寒冷であるが、夏季は温暖で春より初夏にかけて乾燥し、晩夏から秋は比較的雨が多い。

年間を通じ当市の気温は空知管内の平均に近いが、寒暖の差がかなり大きい。

風は地形上から年間を通じ穏やかで西寄りの風が多く、やや内陸性をおびている。

また、降水（雪）量も山間のため管内の他市町より量が多い。

なお、平成27年の気象状況は次表のとおりである。

3. 月別気象状況表

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		最高	6.4	13.1	24.8	26.4	26.8	31.4	31.3	27.4	21.2	16.4	6.8
気温(°C)	最低	4.5	-18.1	-21.3	-8.6	-5.9	1.0	4.1	6.6	7.9	6.0	-2.8	-14.2
	平均	-5.2	-4.2	1.0	6.2	12.3	15.8	20.3	20.6	16.2	7.6	2.3	-2.2
湿度(%)	相対湿度	43.7	20.9	22.2	13.1	13.5	16.2	24.0	28.8	26.8	23.9	30.9	44.1
	蒸発量	78.7	69.3	70.8	63.8	59.7	69.9	73.3	75.4	76.3	74.9	75.9	81.3
風速(m/sec)	最大	74.5	61.6	64.7	50.6	44.9	54.0	63.5	68.8	64.9	70.9	68.4	77.3
	平均	79.3	69.8	71.1	64.8	59.0	69.3	72.8	75.7	75.8	75.2	75.9	81.1
最多風向	西北西	2.2	5.0	6.7	4.1	5.5	2.3	2.7	2.9	3.6	6.9	5.9	1.9
	西北東	0.3	0.6	0.6	0.8	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.3
晴雨日数(日)	晴	9	14	10	14	16	11	15	15	11	10	8	4
	曇	16	9	15	13	13	18	13	15	15	15	17	16
降雪量(cm)	雨	0	0	1	3	2	1	3	1	4	5	3	0
	雪	6	5	5	0	0	0	0	0	0	1	2	11
降雨量(mm)	201	93	151	2	0	0	0	0	0	0	7	61	303
	3	0	16.5	57	55	65	185.5	93.5	194.5	142.5	64	27.5	

4. 人口・世帯数

人 口	男 女	1,707 人 1,957 人	3,664 人
世 帯 数			2,074 世帯

5. 市勢に対する消防現勢との比較

種 別	区 分	消防職員 1 人当	消防団員 1 人当	消防車 1 台当
人 口	159.3 人	76.3 人	916.0 人	
世 帯	90.2 世帯	43.2 世帯	518.5 世帯	
面 積	2.4 km ²	1.2 km ²	14.0 km ²	

6. 人口・世帯の推移

年 別	区 分	人 口	世 帯	消防職員数	備 考
平成 4 年		7,953	3,242	28	
平成 5 年		7,658	3,194	28	
平成 6 年		7,459	3,144	28	
平成 7 年		6,901	2,982	28	
平成 8 年		6,665	3,044	28	
平成 9 年		6,519	3,037	29	
平成 10 年		6,356	3,018	28	
平成 11 年		6,236	2,995	28	
平成 12 年		6,118	2,973	27	
平成 13 年		5,977	2,942	28	
平成 14 年		5,846	2,880	28	
平成 15 年		5,726	2,853	28	
平成 16 年		5,560	2,797	28	
平成 17 年		5,361	2,745	27	
平成 18 年		5,200	2,693	26	
平成 19 年		4,989	2,594	24	
平成 20 年		4,792	2,510	25	
平成 21 年		4,644	2,456	24	
平成 22 年		4,467	2,377	23	
平成 23 年		4,308	2,303	23	
平成 24 年		4,178	2,262	23	
平成 25 年		4,033	2,216	23	
平成 26 年		3,833	2,143	23	
平成 27 年		3,664	2,074	23	

7. 歌志内市消防の沿革

一 消防組時代 一

- 大正12年 明治33年7月歌志内市街の全焼。明治44年5月の大山火事等過去の災害が消防組設置の機運を盛り上げ、4月1日歌志内消防組が設置された。
なお、すでに中村、文珠方面に中村青年団、神威方面に自彊青年団が組織され火災時にはこれらが消火に当たった。
- 大正14年 8月、私立中村実業消防組設立。
- 大正15年 8月、私立神威消防組設立。
- 昭和3年 5月、フォード1929型ガソリンポンプ購入。
- 昭和4年 4月、私立中村実業消防組、私立神威消防組が合併し公立神威消防組が発足した。
- 昭和11年 歌志内消防設備委員代表の寄付採納願により機械置場火の見櫓を設置した。
- 昭和13年 4月、従来の消防機械に更に機動力を持たせ防火の万全を期すため、フォード37年型自動車ポンプを購入。
歌志内消防組、機械器具置場に2馬力サイレン設置。

一 警防団時代 一

- 昭和14年 勅令を以って警防団が公布され、4月1日歌志内警防団（2部、3分団、345名）が発足した。
- 昭和15年 自動車の運転と機械操作のため常備消防員2名が任命された。
- 昭和16年 警防団第2部（神威）消防庁舎を新築、サイレンを設置した。
- 昭和17年 警防団第1部（歌志内）消防器具設置場として消防庁舎の上棟式を行った。
- 昭和19年 警防団（歌志内）サイレン塔屋を新設、警報用サイレン10馬力を設置した。

一 自治体消防時代 一

- 昭和22年 勅令を以って消防団令が公布され、警防団を廃止して7月1日歌志内消防団、神威消防団を結成した。
- 昭和26年 消防体制強化のため4月1日消防本部を設置し、初代消防長に加藤正雄が就任した。
- 昭和30年 歌志内消防団条例が施行され、歌志内、神威消防団を統合、12月1日歌志内消防団を結成した。
- 昭和32年 消防長加藤正雄が退任し、二代消防長に町助役菅原真が就任した。
- 昭和34年 市勢に対応するため消防署を設置、神威方面を所轄区域にする神威分遣所を設置した。
- 昭和36年 神威分遣所庁舎、鉄筋コンクリート造り2階建を新築した。
- 昭和38年 石炭産業界合理化のため解団した北炭消防団の所轄区域維持のため東光一区に分所を設置した。
- 昭和41年 消防力強化のため日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈された。
消防本部庁舎、鉄筋コンクリート造り2階建を新築した。
- 昭和42年 消防本部並びに消防署設置条例を改正し、神威分遣所を出張所に東光分所を分遣所とし、従来の3係を総務、予防、警防、機械の4係とした。
- 昭和43年 市立病院配置救急車が消防本部配置となり5月15日より救急業務を開始した。
- 昭和44年 消防団の団結、規律技能優秀により日本消防協会より表彰旗を授与された。

昭和45年	消防長菅原真が退任し、三代消防長に消防署長鈴木信雄が就任した。
昭和46年	住友歌志内礦閉山に伴い住友消防団第1、3分団が解団し、第2分団は上歌分団として歌志内消防団に編入された。
昭和50年	12月1日、台風6号及び集中豪雨の水防功労により消防団に北海道知事より表彰状が授与された。
昭和51年	11月1日、所轄区域の人口激減のため東光分遣所廃止、12月5日団員の転勤等により分団運営困難なため上歌分団が解団した。
昭和52年	消防長鈴木信雄が退任し、四代消防長に市助役森永大が就任した。
昭和54年	消防吏員待機宿舎（一棟4戸）を新築した。
昭和55年	消防長森永大が退任し、五代消防長に市助役池田鉄雄が就任した。
昭和56年	12月29日、消防本部の組織等に関する規則を一部改正し総務、予防、警防、機械係を総務、予防、保安、警防の4係とした。
昭和60年	消防長池田鉄雄が退任し、六代消防長に市助役河原敬が就任した。
昭和62年	消防長河原敬が退任し、七代消防長に消防署長黒田豊が就任した。
昭和63年	歌志内市名誉消防団員規程を制定した。 歌志内市婦人防火クラブ設立。
平成元年	消防力強化のため日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈された。 4月1日、消防本部並びに消防署の組織に関する規則を一部改正し総務、予防、保安、警防係を総務、予防、保安、警防、救急、消防団係の6係とした。 一般社団法人日本自動車工業会より、救急自動車1台寄贈された。
平成3年	コミュニティ助成事業（自主防災組織育成助成事業）により、歌志内市婦人防火クラブ員の制服等を整備した。
平成4年	歌志内市婦人防火クラブ活動資器材として、日本消防協会より軽可搬消防ポンプ1台寄贈された。 独居老人等災害弱者の突発的な事態発生時に、迅速な救急・救助体制を図るため災害弱者緊急通報システム「ふれあいネットワーク」の運用を開始した。
平成5年	歌志内市消防創立70周年記念式典挙行。
平成6年	6月1日、老人など災害弱者に対する防火指導や火災予防のPR活動を強化するため、女性消防団員5名を採用した。
平成9年	ふるさと消防団活性化事業により歌志内市消防団の訓練用資機材を整備した。
平成10年	消防長黒田豊が退任し、八代消防長に消防署長菊池剛が就任した。 消防団の地域防火思想の普及、災害防ぎよ活動の功績により北海道知事より表彰旗が授与された。
平成12年	応急処置の充実、救命率のアップを図ることを目的とし高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を整備した。 5月1日、救急救命士による救急業務の運用を開始。
平成13年	防火思想の普及、災害防ぎよ活動の功績により消防庁長官より歌志内市消防本部及び歌志内市消防団に竿頭綬が授与された。
平成15年	消防長菊池剛が退任し、九代消防長に消防署長澤田季孝が就任した。
平成16年	7月24日、歌志内市消防団北海道消防操法訓練大会（小型ポンプの部）優勝。 歌志内市消防署神威出張所を歌志内市消防署神威分遣所に機構改革した。 火災統計資料の明確な昭和22年以降初めて、年間無火災記録を達成。

平成17年	携帯電話からの119番通報直接受信運用開始。
平成18年	5月14日、歌志内市防火管理者連絡協議会、歌志内市危険物安全協会が統合し、歌志内市防火安全協会が設立された。 歌志内市消防署組織の機構改革に基づき、歌志内市消防署神威分遣所を廃止し、歌志内市消防団神威分団詰所を設置。 歌志内市消防団神威分団詰所の無人化に伴い、歌志内市消防本部にサイレン吹鳴遠隔装置を設置。
平成19年	4月1日、歌志内市行政機構全体の見直しに伴い、消防本部並びに消防署の組織等に関する規則を一部改正し係制からグループ制とした。 5月1日、歌志内分団、神威分団を第1分団、第2分団と改めた。それに伴い、歌志内市消防団神威分団詰所を歌志内市消防団第2分団詰所とした。 気象観測装置の老朽化等により一部観測ができなくなったため、7月20日、「空知産炭地域整備事業助成金」を活用し、新たに気象観測装置を整備し、8月1日より運用開始した。 10月1日、消防本部並びに消防署の組織等に関する規則を一部改正し、総務・消防団グループ、予防・保安グループ、警防・救急グループの3グループとした。 「民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進助成事業」及び「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」により、歌志内市婦人防火クラブ員のスラックス、軽可搬ポンプ、防火広報用資器材等を整備した。 「住宅用火災警報器設置促進活動等支援助成金」により、パネル、住宅用火災警報器を整備した。
平成20年	住宅用火災警報器の普及促進に係る事業実施にあたっての「地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金制度」により、市内独居老人宅に住宅用火災警報器の設置促進を図った。
平成21年	消防長澤田季孝が退任し、十代消防長に主幹（総務・消防団グループ担当）西丸強が就任した。
平成23年	3月7日、一般社団法人日本自動車工業会より寄贈された救急自動車を高規格救急自動車に更新し、高規格救急自動車を2台体制とした。 3月25日、東日本大震災緊急消防援助隊北海道隊第5次派遣隊として、宮城県石巻市に職員3名を派遣した。 10月13日、歌志内市字本町1027番地55の旧ショッピングセンター、鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階付平屋建を改修し、新消防本部庁舎として運用を開始した。 10月26日、東日本大震災による緊急消防援助隊派遣により消防本部に全国消防長会会长より表彰状が授与された。 11月9日、東日本大震災による緊急消防援助隊派遣により消防本部に総務大臣より表彰状が授与された。 火災統計資料の明確な昭和22年以降2度目の年間無火災記録を達成。
平成24年	3月26日、老朽化した広報車を指揮広報車として更新した。
平成25年	2月15日、老朽化した消防3号車を更新した。 4月1日、消防救助デジタル無線共通波を整備し、運用を開始した。
平成26年	11月29日、老朽化した消防5号車を更新した。 12月11日、老朽化した搬送車を広報搬送車として更新した。
平成27年	11月2日、歌志内市字神威48番地1に鉄筋造平屋建を新築し、新歌志内市消防団第2分団詰所として運用を開始した。 12月1日、消防団の教育訓練のため総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車が1台、無償貸付された。

8. 平成27年行事記録表

月	日	行 事	内 容	開催地
1.	4	出初式		
	14～15	防火対象物立入検査		
	22	立ち往生車両の救出に関する冬期除雪連携調整会議出席		滝川市
	23	北海道消防協会空知地方支部第2回総会出席		"
	24	団本部団員老人家庭防火指導		
	26	ドクターカー症例検討会出席		砂川市
2.	5	全道救助事例研究会出席		札幌市
	10	普通救命講習会		
	13	災害図上訓練指導者養成講習会出席		江別市
	15	消防団総合訓練		
	17～19	防火対象物立入検査		
	27	3次検証部会事業「中空知救急集団災害研修会」出席		歌志内市
3.	3	北海道消防協会空知地方支部中空知分会第3回常任理事会出席		滝川市
	6	「消防記念日」における消防署出動放水救助訓練		
	"	3次検証部会事業「中空知合同救急症例検討会」出席		赤平市
	12～13	防火対象物立入検査		
	20	北海道消防協会第2回定例理事会及び第1回評議員会出席		札幌市
	"	一般救急講習会		
4.	16	精神科救急医療体制整備事業道央ブロック調整会議出席		岩見沢市
	17	北海道消防協会空知地方支部中空知分会第1回常任理事会及び総会出席		雨竜町
	20	春の火災予防運動（4月30日迄）		
	20～23	防火対象物立入検査		
	"	危険物製造所等立入検査		
	24	全国消防長会北海道支部総会出席		札幌市
	27	消防署出動救助訓練		
	30	北海道消防協会空知地方支部第1回役員会及び総会出席		滝川市
	"	中空知救急連絡協議会実務担当者会議出席		"
5.	8	歌志内市防火安全協会定期総会		
	8～19	防火対象物立入検査		
	13	第14回日高・空知管内消防本部メディカルコントロール体制連絡調整会議出席		札幌市
	"	歌志内市婦人防火クラブ定期総会		
	14	「洪水氾濫危険区域図」に係る説明会出席		滝川市
	18	空知消防長会第1回定例会出席		岩見沢市
	19	全国消防長会北海道支部道央地区協議会第1回総会出席		三笠市
	21	北海道危険物安全協会連合会通常総会出席		札幌市
	23	防火座談会		
	26	北海道国民保護共同実動訓練「第1回現地連絡会」出席		旭川市

月	日	行 事	内 容	開催地
5.	27	北海道消防協会空知地方支部中空知分会正副分会长会議出席		赤平市
	30	第26回北海道救急医学会救急隊員部会総会及び研修会出席		苦小牧市
6.	5	一般救急講習会		
	7	消防演習		
	8	一般救急講習会		
	8～19	防火対象物立入検査		
	"	危険物製造所等立入検査		
	10	北海道消防学校校友会空知支部役員会出席		滝川市
	12	空知道路防災連絡協議会出席		"
	14	防火座談会		
	15	ドクターヘリ運航調整委員会出席		札幌市
	"	一般救急講習会		
	16	"		
	17	"		
	18	安全運転管理者理事会及び事業主会総会出席		赤平市
	"	一般救急講習会		
	19	"		
	21	陸上自衛隊滝川駐屯地創設60周年記念式典出席		滝川市
	23	調査技術会議出席		札幌市
	26	一般救急講習会		
	28	北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習参加		赤平市
	29	防火座談会		
	30	消防災害補償等事務担当者研修会出席		札幌市
7.	10	第1回全国消防長会北海道支部道央地区協議会違反是正推進連絡会出席		小樽市
	16～29	防火対象物立入検査		
	17	北海道消防操法訓練大会出席		江別市
	21～29	危険物製造所等立入検査		
	23	全国消防長会北海道支部警防委員会出席		森町
	25	歌志内市婦人防火クラブ一般救急講習会		
	"	一般救急講習会		
	27	"		
8.	4	普通救命講習会		
	7	安全衛生研修会「消防職員惨事ストレス研修会」出席		札幌市
	17～28	防火対象物立入検査		
	18～28	危険物製造所等立入検査		
	20	安全運転管理者講習会出席		赤平市
	"	歌志内市婦人防火クラブ街頭広報実施		

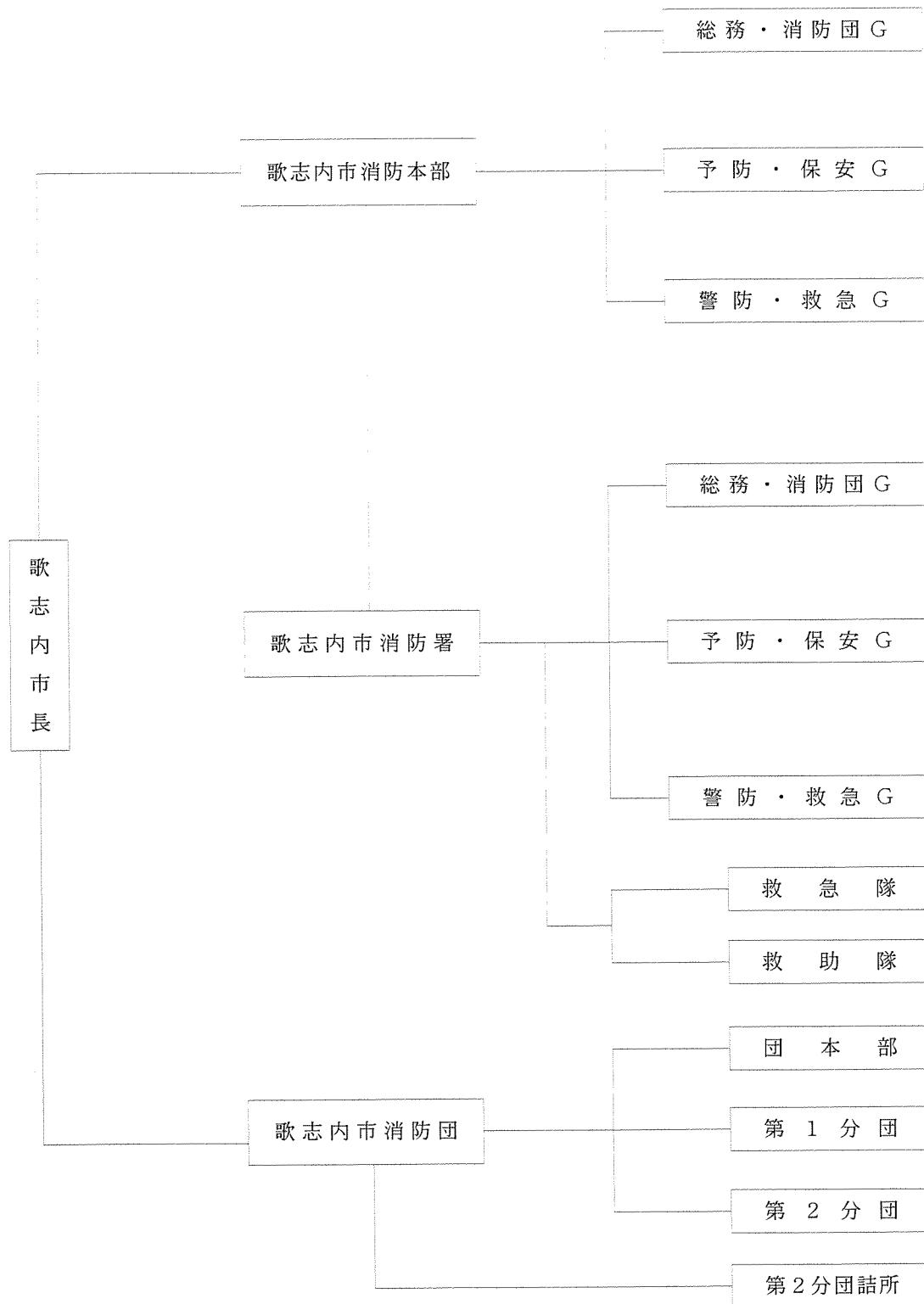
月	日	行 事	内 容	開催地
8.	28	第67回北海道消防大会出席		日高町
9.	1	消防署・消防団合同非常招集訓練		
	2	自殺対策関係者学習会出席		滝川市
	3	企業防災対策指導研修会出席		札幌市
	4	土砂災害を考える防災研修会出席		"
	8 ~ 30	防火対象物立入検査		
	10	「救急の日」「救急医療週間」講演会出席及び実技指導		砂川市
9.	11	女性消防団員交流会出席		歌志内市
	12	普通救命講習会		
	15	一般救急講習会		
	18	空知地区危険物安全協会連絡協議会（ブロック会議）出席		深川市
	19	防火グラウンドゴルフ大会		歌志内市
	25	空知管内消防本部M.C.救急研修会出席		美唄市
	"	北海道小児救急医療地域研修会出席		岩見沢市
10.	9	ドクターヘリ安全研修会出席		札幌市
	14 ~ 21	防火対象物立入検査		
	"	危険物製造所等立入検査		
	15	秋の火災予防運動（10月31日迄）		
	"	防火パレード		
	17	防火座談会		
	19	"		
	21	"		
	23	消防実務研修会出席		札幌市
	30	消防署出動放水救助訓練		
	"	北海道消防協会空知地方支部中空知分会正副分会长会議出席		滝川市
11.	2	新歌志内市消防団第2分団詰所開所式		
	4	全国消防長会北海道支部道央地区協議会第2回総会出席		札幌市
	"	第31回全道婦人防火クラブ指導者研修会及び北海道婦人防火クラブ連絡定期総会出席		"
	6	空知消防長会第2回定例会出席		歌志内市
	7	北海道救急医学会学術集会出席		札幌市
	9	全国消防長会北海道支部道央地区協議会情報懇談会出席		美唄市
	10 ~ 18	防火対象物立入検査		
	"	危険物製造所等立入検査		
	12	空知総合振興局雪害対策連絡会議出席		岩見沢市
	13	北海道消防協会空知地方支部中空知分会第2回常任理事会出席		上砂川町
	"	防火座談会		
	16	全国消防長会北海道支部消防長研修会出席		札幌市

月	日	行 事	内 容	開 催 地
11.	19	北海道国民保護共同実働訓練視察		旭川市
	24	赤穂地区被害者支援連絡協議会総会及び講演会出席		赤平市
	27	一般救急講習会		
	29	防火座談会		
12.	1	空知消防長会事務主管者会議出席		栗山町
3 ~ 4		第24回全国救急隊員シンポジウム出席		札幌市
	4	北海道消防協会空知地方支部第2回役員会出席		滝川市
	7	防火講習会		
10 ~ 16		防火対象物立入検査		
	12	団本部団員老人家庭防火指導		
"		一般救急講習会		
15		北海道高速自動車国道事故等対策訓練出席		富良野市
16		空知地区3次検証会出席		岩見沢市
17		中空知救急連絡協議会実務担当者打合せ会議出席		滝川市
19		団本部団員歳末防火広報		
25		歳末警戒（12月31日迄）		
29		消防団歳末警戒		

消 防 力 の 現 勢

1. 消防組織

(1) 消防機構



(2) 消防職員階級別表

区分	階級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
	定 員	階 級	別 定	員	な し			2 7
実 員	1	4	7	5	4	2	2 3	

(3) 消防職員配置表

() 兼務者

所 属	階級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
	歌 消 防 長	1						1
志 次 長		1						1
内 主 幹		3						3
市 総務・消防団 G			2	2	2			6
消 予防・保安 G			2	2	1			5
防 警防・救急 G			3	1	1			5
本 部 計		1	4	7	5	4		21
歌 署 長	(1)						(1)	0
志 主 幹	(3)						(3)	0
内 総務・消防団 G								0
市 予防・保安 G						1		1
消 警防・救急 G						1		1
防 計	0	(4) 0	0	0	0	2	(4) 2	
署 合 計	1	(4) 4	7	5	4	2	(4) 23	

(4) 消防職員年齢別表

年齢	階級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20歳未満								0
20～25							2	2
26～30						3		3
31～35					2	1		3
36～40				1	2			3
41～45				3	1			4
46～50					1			1
51～55	1	3	2					6
56歳以上		1						1
合 計	1	4	7	5	4	2	23	
平均年齢	54.0	55.0	45.0	36.8	29.5	23.5	40.8	

(5) 消防職員勤続年数表

年数	階級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
5年未満							2	2
5～10						2		2
11～15					4	2		6
16～20				2	1			3
21～25				2				1
26～30								0
31年以上	1	4	3					8
合 計	1	4	7	5	4	2	23	
平均勤続年数	36.0	36.3	25.4	15.0	9.5	2.5	20.7	

(6) 消防職員教養訓練状況（既往 5 カ年）

科 目	年 別 教 育					合 計
	23年	24年	25年	26年	27年	
北 海 道 消 防 学 校 初 任 教 育	1			1		2
救 急 科		1				1
救 助 科			1		1	2
道 気管挿管再認定講習		4	1		2	7
消 ピデオ硬性挿管用喉頭鏡 気管挿管認定講習		2	2	2		6
消 処置拡大2行為講習				3		3
防 危 險 物 科	2					2
学 火 災 調 査 科			1		1	2
校 予 防 査 察 科	1			1		2
校 幹 部 科	1		1	1		3
札幌市消防学校 指揮課程	1		1			2
札幌市消防学校 指揮隊員養成課程				1		1
合 計	4	9	7	6	7	33

(7) 消防職員技能資格調

資格の別	階 級	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	合 計
自動車運転免許	大型 第2種		1					1
大型	大 型				1			1
中型	中 型			7	4	3		14
普通(中型8t未満)	普通	1	3			1		5
普通	普 通						2	2
大型	大 型 特 殊				1			1
小型車両系建設機械特別教育			2					2
安全運転管理者		1						1
ボイラーティスト 2級					1			1
第2級陸上特殊無線技士	1	1	1					3
第3級陸上特殊無線技士				1	1	2		4
危険物取扱者 乙種		1	3	1	4			9
消防設備士 乙種			2	1	1			4
救急 救命士			1	3	2	1		7
救急隊員資格取得者	1	4	6	2	2	1	16	
酸素欠乏危険作業主任者			3	1		1		5
硫化水素危険作業主任者				1		1		2
伐木作業者				1				1
防災士		1			1	1		3
潜水士						1		1
検定簿記 1級					1			1
検定簿記 2級			1	1		1		3
検定簿記 3級			1	1				2

(8) 消防団員定員実員状況

分団名	階級	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計
		定員	1	2	1		1	2	7
団本部	定員								
	実員	1	2	1		1	2	6	13
第1分団	定員			1	1	3	6	12	23
	実員			1	1	3	5	7	17
第2分団	定員			1	1	3	6	12	23
	実員			1	1	3	4	9	18
合計	定員	1	2	3	2	7	14	31	60
	実員	1	2	3	2	7	11	22	48

(9) 消防団員勤続年数表

年数	階級	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計
		1年未満							0
1 ~ 5								18	18
6 ~ 10							2	3	5
11 ~ 15							4		4
16 ~ 20							2	1	3
21 ~ 25						2	2		4
26 ~ 30						1			1
31 ~ 35				2	2	4	1		9
36 ~ 40									0
41年以上	1	2	1						4
合計	1	2	3	2	7	11	22	48	
平均勤続年数	52.0	41.0	38.0	31.5	29.1	16.3	4.9	16.7	

(10) 消防団員年齢別表

年齢	階級	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計
20歳未満								0	
20～25							1	1	
26～30							1	1	
31～35							4	4	
36～40						3	1	4	
41～45						2	8	10	
46～50						2	1	3	
51～55						2		5	7
56～60						2	3	1	6
61歳以上		1	2	3	2	3	1		12
合計		1	2	3	2	7	11	22	48
平均年齢		77.0	73.5	68.7	65.5	63.0	48.5	42.5	51.5

(11) 消防団員任免状況

区分	分団名	團本部	第1分団	第2分団	合計
実員		13	17	18	48
任	採用				0
	退職	1	2		3
免	昇任				0
	異動				0

2. 消防施設
(1) 消防機械

① 消防車両現勢一覧表

区分 所属	車両種別	車両名	型式	年式	エンジン形式	ボンネット形状	ブレーキ級	放水水量(ℓ/分)	放水槽量(ℓ)	登録番号	全長(m)	幅(m)	高さ(m)	定員(名)	経過年数			
消防	タクシーチャンク(3号車)	日野タクシーチャンク(3号車)	SDG-GX7JGAA改	2013	5	6,400	日本機械	R 3	A2	2,232	1,500	札幌801	ま3	7.23	2.30	2.95	6	2
	タクシーチャンク(5号車)	日野タクシーチャンク(5号車)	SDG-GX7JGAA	2013	5	6,400	吉谷機械	F 5	A2	2,244	2,500	札幌801	な5	7.27	2.30	2.95	5	2
	救急1号車	日産救急1号車	CBF-FPWGE50改	2011	6	3,490						札幌800	そ1174	5.64	1.90	2.47	7	4
	救急2号車	三菱救急2号車	KK-FG50EB改	2000	6	5,240						札幌800	さ5879	5.34	1.81	2.71	7	16
	指揮車	トヨタ指揮車	GF-RZJ 95W	2002	4	2,690						札幌830	め119	4.70	1.82	2.19	5	13
消防	指揮広報車(1号車)	トヨタ指揮広報車(1号車)	CBF-TRH226K	2012	4	2,690						札幌800	そ2375	5.38	1.88	2.47	9	3
	ポンプ車(2号車)	三菱ポンプ車(2号車)	KC-FG538D	1996	4	4,560	日本機械	R 3	A2	2,200		札幌88	と4004	5.58	1.89	2.67	10	19
	ポンプ車(6号車)	三菱ポンプ車(6号車)	KC-FG538D	1997	4	4,560	日本機械	V3000	A1	2,860		札幌88	と5910	5.60	1.88	2.70	6	18
	ポンプ車(無噴射車両)	いすゞポンプ車(無噴射車両)	TKG-NMS85AN	2015	4	2,990	モリタ	ME-5	A2	2,000		札幌831	た6	5.55	1.90	2.42	6	0
	広報搬送車(7号車)	トヨタ広報搬送車(7号車)	CBF-TRH228B	2014	4	2,690						札幌800	み7000	5.38	1.88	2.45	10	1

② 消防機器積載狀況

③ 特殊器具等一覧表（車載分含）

保 安 機 器

品 名	数 量	備 考
デジタルレーザー距離計	1	
可燃性ガス検知器	1	
炭化深度計	3	
騒音計	1	
超音波厚さ計	1	

救 急 資 器 材

品 名	数 量	備 考
患者監視装置	1	DYNASCOPE
自動体外式除細動器	3	MRx 2、FR2 1
自動心マッサージ器	2	ルーカスII、サンバー
血圧計	4	携帯2、デジタル2
輸液セツト	2	輸液ポンプ・翼状針・留置針・駆血帶・輸液
気道確保用資器材	3	LM、LT、気管挿管チューブ
吸引器	2	tote CUBE-vac、BOSCAROL
喉頭鏡セツト	5	喉頭鏡4、ビデオ喉頭鏡1
携帯血中酸素飽和度測定器	2	マジモRad57、ハンドヘルド・パルスオキシメータ3401
オゾン殺菌装置	2	オゾン水生成器・オゾンガス発生器
脊柱固定用資器材	4	バックボード2、レスキューボード2

救 助 器 具

品 名	数 量	備 考
エアーカッター	1	
工アーソー	1	
可搬式ワインチ	2	
救助マット	1	
バスケットストレッチャー	1	
マット式空気ジャッキ	1	
マルチ型ガス検知器	2	XP-302M-A-3
防護服	11	
ロープレスキューリ機材	1	
油圧救助器具	スプレッダー カッター コンビツール パワーユニット ホースリール	1 1 1 1 1

そ の 他

品 名	数 量	備 考
泡消火原液	500ℓ	合成界面活性剤(260ℓ)・水成膜泡消火薬剤(240ℓ)
クラスA泡消火薬剤	40ℓ	
油処理剤	189ℓ	スノーラップ
油吸着マット	248枚	
油・液体吸着剤	60kg	ACライト
組立水槽	2	
チエンソーグ	6	エンジン仕様5、AC100V仕様1
土のう	9,600枚	本部8,000枚、分団詰所1,600枚
発電機	8	
拡声器	11	

(2) 消防無線

① アナログ無線

呼出名称	種別	常置場所	周波数		送信出力	開局年月日	備考
			全国共通波	市町村波			
うたしょう	基地局	歌志内市消防本部	○	○	10W	S35. 5. 10	
	固定局	"	○	-	"	S61. 12. 25	
" 1	陸上移動局	"	○	○	"	S35. 5. 10	
" 2	"	"	○	○	"	S47. 2. 22	
" 3	"	"	○	○	"	S51. 9. 16	
" 5	"	"	○	○	"	"	
" 6	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	"	S47. 2. 22	
" 7	"	"	○	○	"	"	
" きゅうきゅう 1	"	歌志内市消防本部	○	○	"	H11. 12. 14	
" きゅうきゅう 2	"	"	○	○	"	S35. 5. 10	
" しれい	"	"	○	○	"	S47. 7. 22	
" 1 1	"	"	○	○	"	S39. 8. 4	
" 1 2	"	"	○	○	"	S47. 2. 22	
" 1 3	"	"	○	○	5W	S57. 9. 22	
" 1 4	"	"	○	○	"	"	
" 1 5	"	"	○	○	"	"	
" 1 6	"	"	○	○	"	S58. 11. 29	
" 1 7	"	"	○	○	"	S58. 8. 30	
" 1 8	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	1W	"	
" 1 9	"	歌志内市消防本部	○	○	5W	H15. 5. 12	

※市町村波周波数～152.81MHz

②デジタル無線

呼出名称	種別	常置場所	周波数			送信出力	開局年月日	備考
			1統	1主	活動			
			S制	S運用	運動			
			3波	7波	波			
うたしないしょうぼう	基地局	歌志内市役所	○	—	—	20W	H25. 3. 22	
うたしょうかはん 1	陸上移動局	歌志内市消防本部	○	○	—	10W	H25. 2. 26	
うたしよう 1	"	"	○	○	—	"	"	
" 2	"	"	○	○	—	"	"	
" 3	"	"	○	○	—	"	"	
" 5	"	"	○	○	—	"	"	
" 6	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	—	"	"	
" 7	"	"	○	○	—	"	"	
" きゅうきゅう 1	"	歌志内市消防本部	○	○	—	"	"	
" きゅうきゅう 2	"	"	○	○	—	"	"	
" しれい	"	"	○	○	—	"	"	
うたしょうけいたい 1	"	"	○	○	—	5W	"	
" 2	"	"	○	○	—	"	"	
" 3	"	"	○	○	—	"	"	
" 4	"	"	○	○	—	"	"	
" 5	"	"	○	○	—	"	"	
" 6	"	"	○	○	—	"	"	
" 7	"	"	○	○	—	"	"	
" 8	"	"	○	○	—	"	"	
" 9	"	"	○	○	—	"	"	
" 10	"	"	○	○	—	"	"	
" 11	"	"	○	○	—	"	"	

(3) 水利現勢

地区別	種 別		防 火 水 槽	地上式消火栓	
	40 m ³ ~ 100 m ³ 未満	20 m ³ ~ 40 m ³ 未満	計	公	設
歌志内地区	23	8	31	0	
消防署	35	3	38	1	
合 計	58	11	69	1	

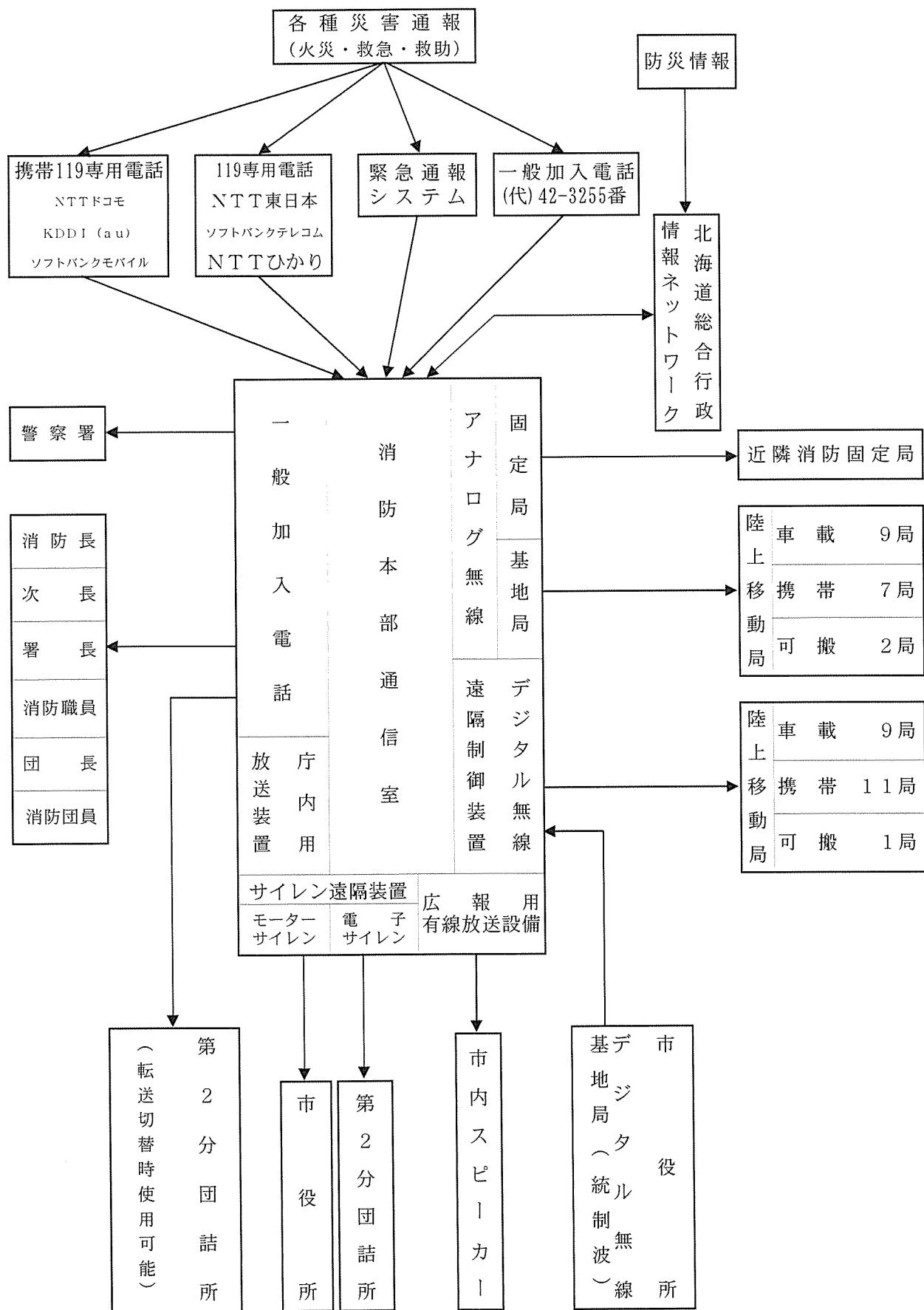
(4) 消防庁舎

名 称	所 在 地	構 造	建 築 面 積	延 ベ 面 積	主 た る 施 設	竣 工 年 月 日
本 部 本 町 消 防 署	1027番地55	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地下1階付平屋建	1,134.00m ²	1,368.63m ²	気象観測施設 サイレン吹鳴遠隔装置 出動表示灯 自家発電設備 自動火災報知設備 排気ガス排出装置 ホース洗浄機 ホース乾燥機 有線放送設備	平成23年10月13日
第2分団 詰 所	神威48番地1	鉄筋造 平屋建	214.17m ²	212.77m ²	自家発電設備 断熱オーハースライダー 地中蓄熱式床暖房設備 ハリアフリー構造 有線放送設備	平成27年11月2日

(5) 消防職員住宅

名 称	所 在 地	棟 数	戸 数	建 築 面 積	延 ベ 面 積	構 造
消防吏員待機宿舎	本町50番地	1	4	133.2m ²	253.5m ²	コンクリートブロック2階建 (昭和54年11月12日竣工)

(6) 通信施設系統図



(7) 通信・気象観測施設

種別	名 称	数	適	要
電	1 1 9 番 専 用 電 話	8	本部通信室に設置 (NTT 2、NTTひかり 2、ソフトバンクコム 2、携帯電話直接受信 2)	
	一 般 加 入 電 話	4	本部 3 分団詰所 1 (転送切替時使用可能)	
	緊 急 通 報 シ ス テ ム 「ふれあいネットワーク」	1	NTT SR10-VI 一式 本部通信室に設置 (2回線・端末56台)	
話	フ ア ク シ ミ リ	2	本 部 FAX番号 0125-42-5210 分団詰所 FAX番号 0125-42-3119	
	メ ー ル ア ド レ ス	1	utasyou@sirius.ocn.ne.jp	
	北海道総合行政情報ネットワーク	1	本部通信室に設置	
			基 地 局 (統制波3波)	20W 1局
消	デ ジ タ ル 無 線	22	陸 上 移 動 局 車載型 (統制波3波・主運用波7波) 10W 9局 携帯型 (統制波3波・主運用波7波) 5W 11局 可搬型 (統制波3波・主運用波7波) 10W 1局	
防			固 定 局 (全国共通波)	10W 1局
			基 地 局 (全国共通波・市町村波)	10W 1局
無	ア ナ ロ グ 無 線	20	陸 上 移 動 局 車載型 (全国共通波・市町村波) 10W 9局 携帯型 (全国共通波・市町村波) 5W 6局 携帯型 (全国共通波・市町村波) 1W 1局 可搬型 (全国共通波・市町村波) 10W 2局	
線	簡 易 無 線 電 話 〔スタンダード社製 FTH-308 スピーカーマイク MH-73A4B〕	20	無償貸付車両車載 送受信周波数 12.5KHZ スナップ (分団部長以上貸与)	6台 14台
放	序 内 用 放 送 装 置	1	本 部 240W	
送	広 報 用 有 線 放 送 設 备	2	本 部 120W 3 分団詰所 120W 4	
信	サ イ レ ン 遠 隔 装 置	2	本部通信室に設置	
号	モ ー タ ー サ イ レ ン	1	出 力 (10馬力・自動吹鳴機付) 市役所屋上に設置	
装	電 子 サ イ レ ン	1	広報用有線放送設備により拡声 (市内一円) 分団詰所前に設置 (増設アンプ)	
置	気 象 観 測 デ ー タ 監 視 シ ス テ ム (ウェザーステーションOTW-2006)	1	本部通信室に設置 (温度計、湿度計、気圧計、風向風速計、雨量計) デスクトップPC一括表示	

(8) 緊急通報システム

① ふれあいネットワーク（消防センター）

名 称	数	摘 要	※平成4年10月1日運用開始
加入回線 INSネット64 (NTT回線)	1回線 1回線	緊急通報受信及び様態確認、協力員等発信回線 デジタル通話路2CH ダイヤルアップルーター(Ipmate 1600RD) 相談通報転送用回線	
受信装置	1台	NTT SR10-VI3.0 通報蓄積 最新の99件 自動発着信接続方式 通信制御機能	
	一式	コンピューター本体 (Core 2 Duo. 3 GHz. メモリ：1GB) HDD 80GB. OS Windows X P Pro 最大処理端末機器 (20,000端子)	
表示処理装置	1台 1台 1台 1台	モニタ (17インチカラーディスプレイ 液晶) プリンター (EPSON LP-S100) イメージスキャナー (Canon LIDE30) MOドライブ (I-Oデータ MOA-iu640A)	

② 発信種別通報

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
緊急ボタン	2				1	1		1	1			2	8
手元ボタン	1												1
ペンドント						1							1
火災センサー													0
ガスセンサー	1		1			2	1		1	1		3	10
その他（停復電含）				3				2		1			6
相談ボタン													0
合 計	4	0	1	3	1	4	1	1	4	1	1	5	26

③ 処理別回数

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
救急車出場	1				1	2		1	1				6
消防車出動													0
出向調査									1				1
協力員要請				1			1						2
合 計	1	0	0	1	1	2	1	1	2	0	0	0	9

火災と救急・救助

1. 火災概況

年		平成27年		平成26年	
区分		内訳合計		内訳合計	
火災件数	建物火災	2件		1件	
	林野火災	0件		0件	1件
	車両火災	0件		0件	
	その他火災	0件		0件	
焼損面積	全焼	34m ²		7m ²	
	半焼	100m ² (49)m ²	134(49)m ²	0m ²	7(105)m ²
	部分焼	0m ²		(105)m ²	
	ぼや	0m ²		0m ²	
損害見積額	車両	0台	0台	0台	0台
	林野	0a	0a	0a	0a
	建物	4,271千円		210千円	
	収容物	7,716千円	11,987千円	344千円	554千円
焼損棟数	車両	0千円		0千円	
	その他	0千円		0千円	
	火災1件当	5,994千円		554千円	
	市民1人当	3,272円		145円	
罹災世帯数	1世帯当	5,780円		259円	
	全焼	1棟		1棟	
	半焼	1棟	2棟	0棟	2棟
	部分焼	0棟		1棟	
罹災人員	ぼや	0棟		0棟	
	全損	1世帯		0世帯	
	半損	0世帯	1世帯	0世帯	1世帯
	小損	0世帯		1世帯	
死傷者数	全損	4人		0人	
	半損	0人	4人	0人	2人
	小損	0人		2人	
	死者	0人	0人	0人	1人
	負傷者	0人		1人	

※火災報告取扱要領に準じ小数点以下四捨五入、焼損面積（ ）は表面積

※平成27年12月末人口3,664人、世帯数2,074世帯

(1) 平成27年火災記録(出火率5.5)

番号	出火月日	出火時刻	覚知方法	火場所	用度	焼損面積(m ²)	焼損程度	焼損車両	積荷額(千円)	焼損棟数	罹災世帯数	罹災者数	死者数	負傷者数	火原因	天気	風向	風速(m/s)	湿度(%)	温度(℃)	気象状況	
																					たばこの未始不	
1	8月4日	15:54	119	神威277番地4 (錦ヶ岡)	休憩所	34m ²	全焼	700	419	1,119	1	1	1	1	4	晴	西北西	0.9	61	28.3		
	10月2日	15:42	119	神威55番地 (美山町)	店舗併用住宅	100m ²	半焼	3,571	7,297	10,868	1	1	1	1	4	晴	西北西	2.1	34.3	13.7		
2																					不明	

* 出火率(人口10,000人あたりの出火率)=出火件数÷人口×10,000人
 * 平成27年12月末人口 3,664人

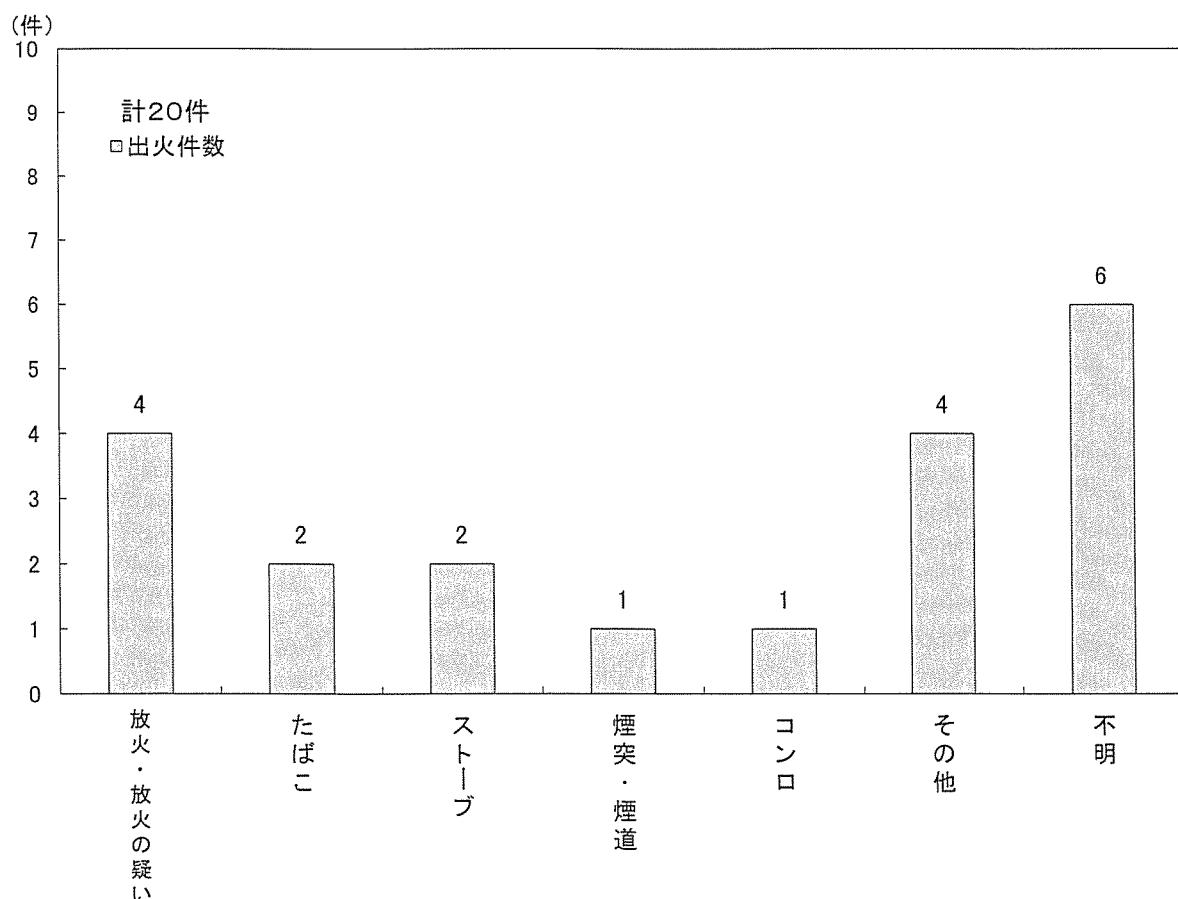
(2) 既往10ヵ年月別火災発生状況

年別	種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
18 年	建 物 火 灾												2	2
	林 野 火 灾						1							1
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
19 年	建 物 火 灾						1	1	1		1	1	1	6
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
20 年	建 物 火 灾			1	1	1								3
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
21 年	建 物 火 灾													0
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾									1				1
22 年	建 物 火 灾	2												2
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
23 年	建 物 火 灾													0
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
24 年	建 物 火 灾										1			1
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
25 年	建 物 火 灾								1					1
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
26 年	建 物 火 灾	1												1
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
27 年	建 物 火 灾							1		1				2
	林 野 火 灾													0
	車 両 火 灾													0
	そ の 他 火 灾													0
計		3	0	1	1	2	1	1	2	1	3	2	3	20

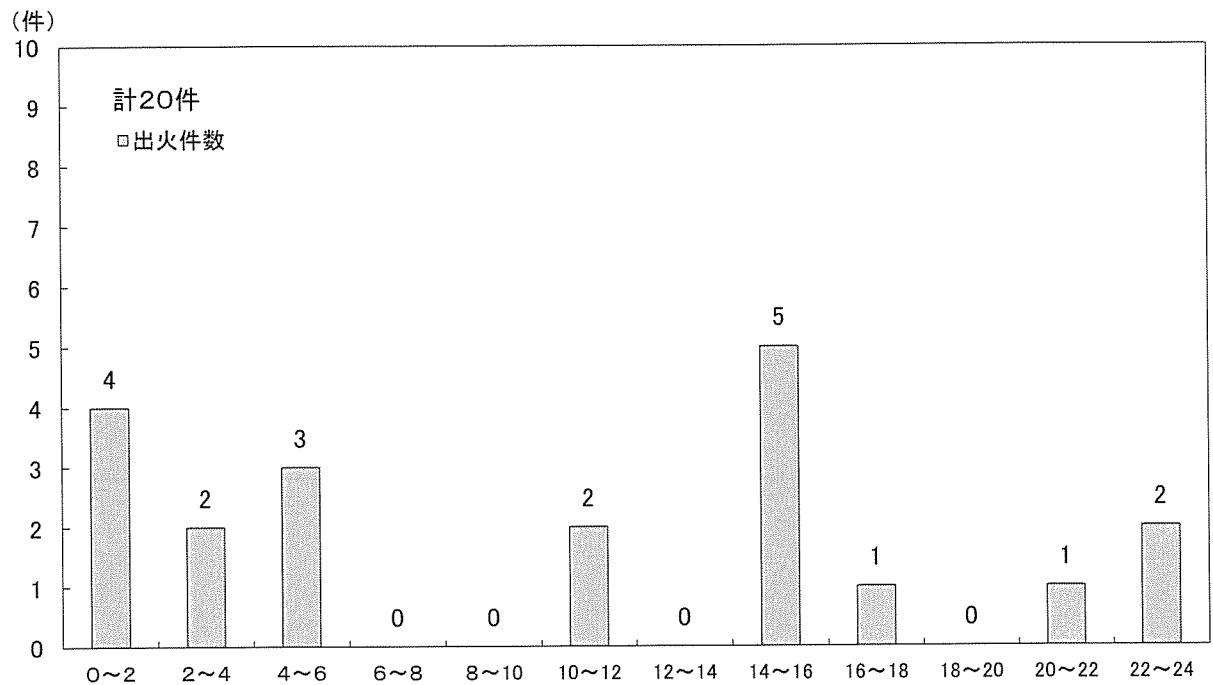
(3) 既往10カ年火災状況

年	火災種別				焼損状況				死 者	負 傷 者	
	建物	林野	車両	その他	計	床面積 (m ²)	表面積 (m ²)	台	アール (a)		
H18	2	1			3	37		5	5	2,957	1 2
H19	6				6	408	40			19,176	1
H20	3				3	251	1			14,862	
H21			1		1						
H22	2				2	243				1,742	2
H23					0						
H24	1				1		9			9,503	
H25	1				1	106	4			3,683	
H26	1				1	7	105			554	1
H27	2				2	134	49			11,987	
計	18	1	0	1	20	1,186	208	0	5	64,464	4 3

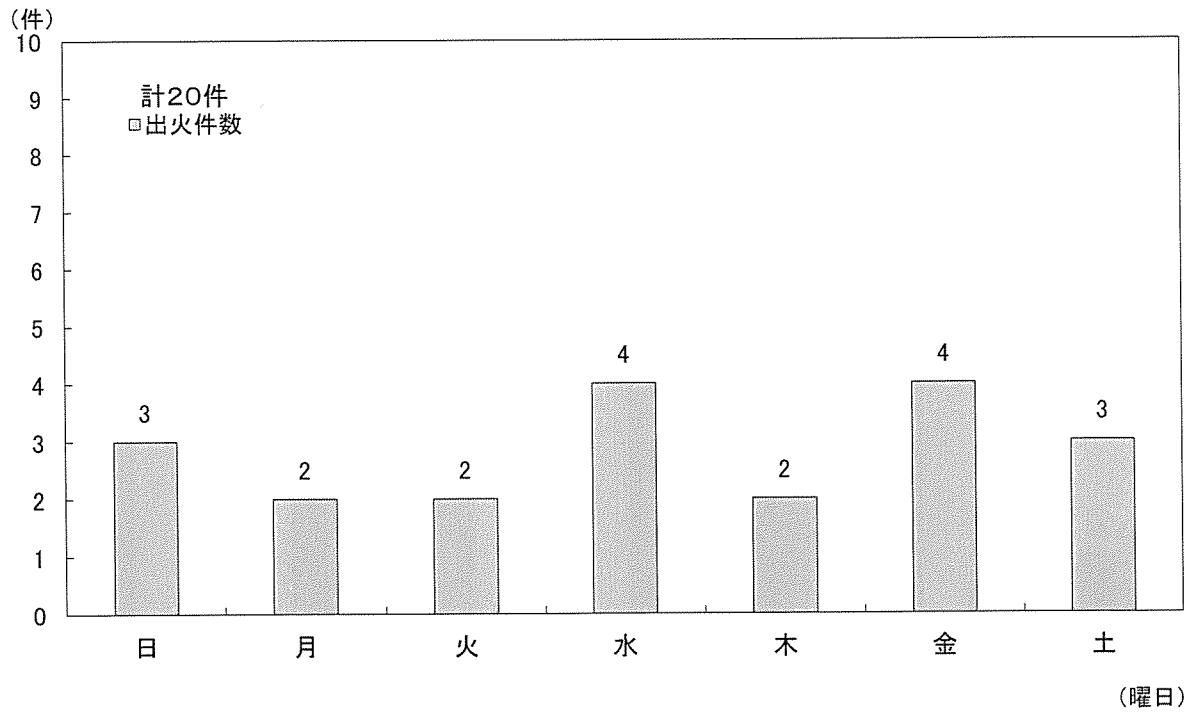
(4) 既往10カ年原因別出火件数



(5) 既往10ヵ年時間帯別火災発生状況



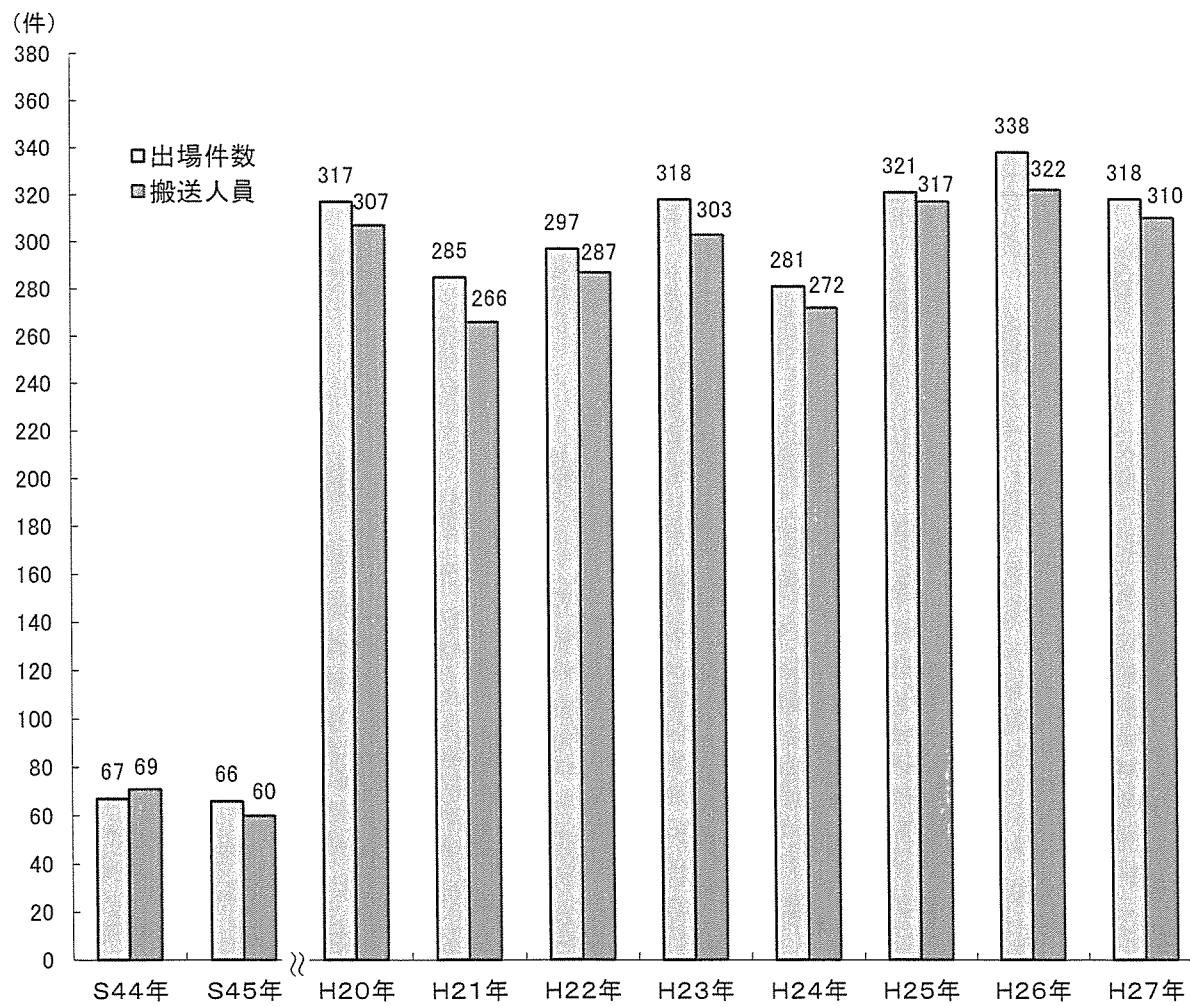
(6) 既往10ヵ年曜日別火災発生状況



2. 救急概況

出場件数	搬送人員	不搬送件数
318	310	11
	男 146 女 164	

区分	年	S44年	S45年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年								
		出場件数	搬送人員																
		67	69	317	307	285	266	297	287	318	303	281	272	321	317	338	322	318	310



(1) 月別救急出場状況

月 別 分	区 分	事 故 種 別									合 計		
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為			
1	出場件数				2		1	3		31	2	39	
月	搬送人員				3		1	3		31		38	
2	出場件数				2			3		13	3	21	
月	搬送人員				3			3		13	3	22	
3	出場件数				1					21	2	24	
月	搬送人員				1					21	2	24	
4	出場件数							5		24	4	33	
月	搬送人員							5		24	3	32	
5	出場件数							3		12	6	21	
月	搬送人員							3		12	5	20	
6	出場件数				2			2		16	4	24	
月	搬送人員				3			2		15	3	23	
7	出場件数							3		21	3	27	
月	搬送人員							3		21	2	26	
8	出場件数							1		18		19	
月	搬送人員							1		18		19	
9	出場件数							2		12		14	
月	搬送人員							2		11		13	
10	出場件数							2		18	2	22	
月	搬送人員							2		17	2	21	
11	出場件数						1	6		25	2	34	
月	搬送人員						1	6		25	2	34	
12	出場件数				1	2		9		25	3	40	
月	搬送人員				1	2		9		25	1	38	
合 計	出場件数	0	0	0	8	2	2	39	0	0	236	31	318
	搬送人員	0	0	0	11	2	2	39	0	0	233	23	310

(2) 時間別救急出場状況

事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
時間別												
0 ~ 2										14	1	15
2 ~ 4										7	1	8
4 ~ 6							5			7	1	13
6 ~ 8							6			34		40
8 ~ 10					2		4			39	2	47
10 ~ 12					1		1	3		30	7	42
12 ~ 14					1		1	5		23	7	37
14 ~ 16					4		2			15	5	26
16 ~ 18				2			3			31	2	38
18 ~ 20							7			12	2	21
20 ~ 22							1			15	1	17
22 ~ 24							3			9	2	14
合計	0	0	0	8	2	2	39	0	0	236	31	318

(3) 曜日別救急出場状況

事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日別												
月				3			6			39	7	55
火					2		5			37	6	50
水							9			29	4	42
木				2		1	4			33	4	44
金				2			5			52	6	65
土				1			2			25	3	31
日						1	8			21	1	31
合計	0	0	0	8	2	2	39	0	0	236	31	318

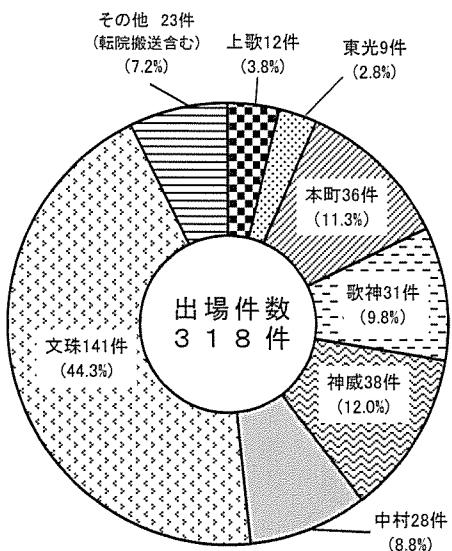
(4) 年齢・性別搬送状況

性別	年齢	0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~	合計
		0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~	
男		3	2	3	7	15	36	80	146	
女		1	2	3	1	1	10	17	129	164
合計		1	5	5	4	8	25	53	209	310

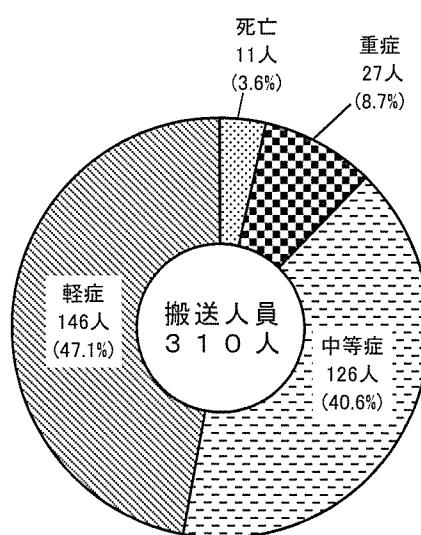
(5) 事故種別・性別搬送状況

事故種別 性別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	災	害	事 故	故	害	技	傷	害	為	病	他	
男				5	2	1	21			106	11	146
女				6		1	18			127	12	164
合計	0	0	0	11	2	2	39	0	0	233	23	310

(6) 地区別発生状況



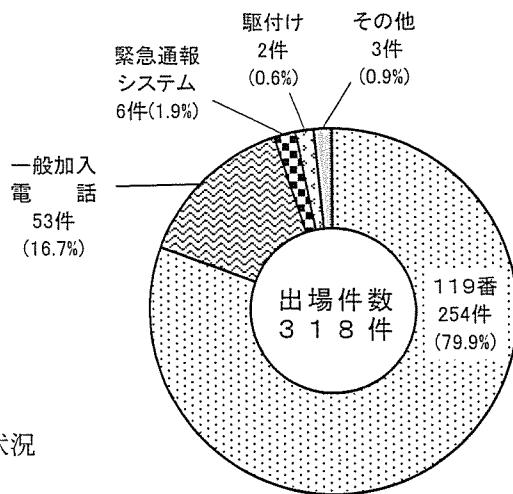
(7) 傷病程度別搬送状況



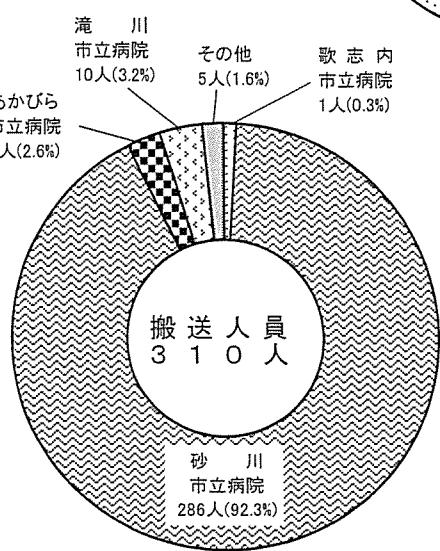
(8) 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別	対象	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	心電図	酸素吸入	気道確保	保育入室	被服等	シヤウツ	血液検査	聴診	中酸素飽和度測定	心拍	除細胞路	静脈投与	薬物	合計
急 病	人 員	233	1 9	2 (2)	11 (11)	93	11 (1)	(1)	(9)	223	224	11	223	77	1	7	5	4	902
交通事故		11	5			2				7 2	11	10							37
一般負傷		39	4 13		1 (1)	4	2 (1)		(1)	38 3	37	1	38	2		1			144
その 他		27	1 5			7				27	27	27	5						99
合 計		310	6 32 0	2 (2)	12 (12)	106	13 (2)	(1)	(10)	295 5	0 299	12 298	84	1	8	5	4	1,182	

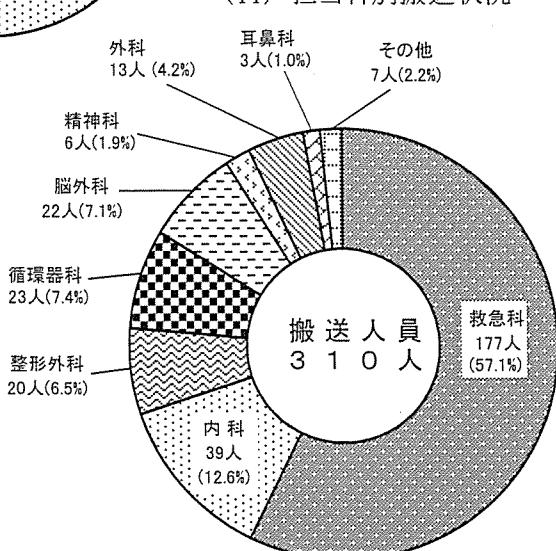
(9) 覚知別受信状況



(10) 医療機関別搬送状況



(11) 担当科別搬送状況



(12) 既往5カ年事故種別出場状況

事故種別 年別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他の	合計
平成23年				3	2	5	39		2	235	32	318
平成24年				3	1	16	44	2	3	187	25	281
平成25年				5	1	8	47	1	1	236	22	321
平成26年				10	2	11	54		4	228	29	338
平成27年				8	2	2	39			236	31	318

(13) 普通救命講習会実施状況

区分 年別	実施回数	受講人員		合計
		男	女	
平成23年	6	31	46	77
平成24年	2	22	16	38
平成25年	4	26	35	61
平成26年	2	16	28	44
平成27年	3	18	25	43

(14) 一般救急講習会実施状況

区分 年別	実施団体						実施回数	受講人員
	事業所	福祉施設	観光施設	町内会	学校関係	その他		
平成23年		1			1	4	6	121
平成24年	2	3	1		2	2	10	131
平成25年	2	1	2	2	1	6	14	154
平成26年	2		1			5	8	95
平成27年	2	3	1			9	15	138

3. 救助概況（既往 5 カ年）

年	発 生 月 別 日	覚 知 時 刻	発 生 場 所	事 故 種 別	出 動 車 両	出 動 人 員	救 助 人 員	使 用 資 機 材
	3月 9日	19:05	文珠 156番地7	その他	タンク車	6	1	2連梯子
23	9月15日	12:25	中村 1001番地	その他	タンク車	2	1	バスケットストレッチャー
年	9月27日	14:10	東光 71番地4	その他	タンク車	3	1	2連梯子・30mロープ
	11月 1日	9:58	神威 1015番地	交通事故	タンク車	3	1	なし
24	救助事案なし							
年								
25	3月24日	15:59	上歌 新歌志内トンネル	交通事故	タンク車 指揮広報車	3	1	なし
	5月21日	16:04	文珠 1028番地	交通事故	タンク車	5	1	なし
年	11月30日	8:56	神威 1009番地	交通事故	タンク車	8	1	かぎ付梯子・50mmホース
	1月10日	13:48	中村 1006番地	交通事故	タンク車 指揮広報車 指令車	6	1	なし
26	2月26日	18:35	文珠 159番地3	交通事故	タンク車 指令車	7	0	なし
	3月10日	10:38	神威 1014番地	交通事故	タンク車 指揮広報車 指令車	6	0	50mmホース
年	3月17日	8:17	神威 274番地1	自損行為	タンク車 指揮広報車 指令車	9	1	ガス検知器・送排風機
	11月15日	23:58	神威 168番地1	その他	タンク車	2	1	3連梯子・20mロープ バスケットストレッチャー
	1月 3日	13:39	神威 1009番地	交通事故	タンク車 指令車	4	2	3連梯子
27	2月23日	14:53	歌神 42番地	交通事故	タンク車 指揮広報車 指令車	4	1	なし
	3月12日	11:44	本町 1003番地1	交通事故	タンク車 指令車	3	1	なし
	12月 8日	8:36	歌神 94番地	労働災害	タンク車 タンク車 指令車	9	2	3連梯子 20m・30mロープ バスケットストレッチャー

予 防 行 政

1. 月別建築同意・通知処理状況

月	別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
同 意 件 数		1								1				2
工 事 別	新 築				1						1			2
	増 築													0
	用 途 変 更 及 び 計 画 変 更													0
	修 繕													0
	移 転													0
構 造 別	耐 火 構 造													0
	準 耐 火 構 造					1								1
	木 造													0
	そ の 他										1			1
(1)	イ 劇 場・映 画 館 等													0
	ロ 公 会 堂・集 会 場													0
	イ キ ャ バ レ ー 等													0
(2)	ロ 遊 技 場 等													0
	ハ 性 風 俗 関 連													0
	二 カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													0
(3)	イ 待 合・料 理 店 等													0
	ロ 飲 食 店													0
(4)	百 貨 店・店 舗 等													0
(5)	イ 旅 館・ホ テ ル 等													0
	ロ 寄 宿 舎・共 同 住 宅													0
	イ 病 院・診 療 所 等													0
(6)	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等													0
	ハ 老 人 デ サ ー ビ ス セン タ - 等													0
	二 幼 稚 園 等													0
(7)	学 校 等													0
(8)	図 書 館・博 物 館 等													0
(9)	イ サ ウ ナ 浴 場 等													0
	ロ イ 以 外 の 浴 場													0
(10)	停 車 場・発 着 場 等													0
(11)	神 社・寺 院 等													0
(12)	イ 工 場・作 業 場													0
	ロ 映 画 斯 タ ジ オ 等													0
(13)	イ 車 庫・駐 車 場 等										1			1
	ロ 格 納 庫 等													0
(14)	倉 庫													0
(15)	そ の 他 の 事 業 場						1							1
(16)	イ 複 合 用 途													0
	ロ イ 以 外 の 複 合 用 途													0
専 用 住 宅														0
自 家 用 車 庫・倉 庫														0
そ の 他														0

通 知 書	月 别	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
件 数					1									1

2. 消防業務処理状況

区分	件 数	受付件数	処理件数
危険物関係	製造所等設置許可申請 製造所等完成検査前検査申請 製造所等完成検査申請 製造所等変更許可申請 製造所等譲渡引渡届 選任届 危険物保安監督者解任届 製造所等品名、数量又は指定数量の倍数変更届 製造所等廃止・休止・変更届	0 1 3 3 1 2 2 1 5	0 1 3 3 1 2 2 1 5
少量危険物貯蔵・廃止届	1	1	
ボイラ一等設備設置届	1	1	
防火対象物使用開始届	2	2	
防火対象物に係る軽微な変更届	1	1	
露店等の開設届	15	15	
催物開催届	1	1	
温風暖房機設置届	0	0	
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い開始届	1	1	
屋内消火栓設備設置届	0	0	
自動火災報知設備設置届	1	1	
消防機関に通報する火災報知設備設置届	0	0	
非常警報設備設置届	0	0	
スプリンクラー設備設置届	0	0	
誘導灯・誘導標識設置届	1	1	
消火器設置届	0	0	
発電設備等設置届	1	1	
揚煙等の行為の届	9	9	
道路工事届	5	5	
煙火打上げ・仕掛け届	7	7	
合計	64	64	

3. 防火管理者業務状況

区分 項目別	選任義務 対象物数	選 任	変更に伴う	変更に伴う	変更に伴う	消防訓練	設備点検
			選任届出	解任届出	消防計画	実 施	報 告
(1) 口	7	7	2	1	3	4	2
(3)	口	1	1			2	1
(5)	イ	4	4	2	1	5	6
	口	1	1			2	1
	イ	2	2	1	1	2	2
(6)	口	5	5	1	1		12
	ハ	3	3			6	3
	二	1	1			2	1
(7)		3	3	1	1	1	4
(8)		2	2		1	2	3
(11)		8	8	1	1	2	4
(15)		7	7	2	2	6	5
(16)	イ	4	4		1	2	8
合 計		48	48	10	10	23	60
							32

4. 危険物製造所等現在数調

区 分	種 別	設 置 数			貯 �藏 又 は 取 扱 数 量 (t)					保 安 監 督 者	
		自 家 用	営 用	合 計	第 4 類				第 5 類		
					第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類			
貯 蔵 所	屋 内 貯 藏 所	1	1	2	600	600	16,800	9,000	100 (kg)	27,000 100 (kg)	1
	屋 内 タンク 貯 藏 所	3		3		12,480				12,480	
	地 下 タンク 貯 藏 所	18	1	19		237,400	153,500			390,900	2
	移 動 タンク 貯 藏 所	4	8	12		37,150	3,000			40,150	
	屋 外 貯 藏 所	1		1				24,000		24,000	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	3	4	7	65,000	115,200	2,000	7,800		190,000	7
	一 般 取 扱 所	5	1	6		78,800	15,000			93,800	1
	小 口 詰 替 専 用 一 般 取 扱 所		1	1		19,200				19,200	1
合 計		35	16	51	65,600	500,830	190,300	40,800	100 (kg)	797,530 100 (kg)	12

5. 危険物規制事務手数料

手数料 (円)	区 分	仮使用承認手数料	変更許可手数料	完成検査前検査手数料	完成検査手数料
合 計		108,900	5,400	65,000	6,000
					32,500

6. 防火広報活動

春の火災予防運動（4月20日～4月30日）

秋の火災予防運動（10月15日～10月31日）

歳末警戒（12月25日～12月31日）

区分	回数	活動の内容
消防車による広報	35	春・秋の火災予防運動期間、歳末警戒
新聞等の掲載	20	市広報紙「うたしない」掲載、災害対応型自動販売機電光掲示板、消防本部電光掲示板に掲示
防火ポスターの配布	2	春・秋の火災予防運動期間、防火対象物に配布
放送施設の利用	116	春・秋の火災予防運動期間、歳末警戒、お盆・夏休みに火災予防広報を実施
消防訓練	60	病院、診療所、学校、ホテル、老人福祉施設、身体障害者更生施設、旅館等
サイレン吹鳴	4	春・秋の火災予防運動期間に実施
事業所啓発	1	団本部団員による歳末防火広報
防火座談会	6	春・秋の火災予防運動期間に実施
防火グラウンドゴルフ大会	1	会場に防火ポスター及びのぼりを掲示し、参加者に防火ティッシュを配布（9月に実施）



歌志内市消防シンボルキャラクター
<ホルンくん>